

石神中学校だより11号

発行日：令和元年 10月1日

2019重点目標<目標を持ち、共に高め合い、夢の実現のためにやり抜く生徒> 文責：校長 佐藤恭司

2年生救急救命講習会受講しました



9月12日に2年生全員が体育館を会場に救急救命講習会に参加しました。突然のけがや病気で呼吸や心臓がとまってしまったとき、命を救うためには、救急隊が到着するまでの応急手当が大切です。救命講習会では、心肺蘇生やAEDの取扱いなどについて学び、万が一に備えた知識や技術を習得することを目的として実施しました。生徒らは一つ一つの動作や技法など、消防署員の指導を受け、真剣に取り組んでいました。参加生徒には普通救命講習修了証が配付されます。

福島イノベーション・コースト構想<ドローン教室開催>

9月30日、3年生を対象に本校体育館にてドローン教室を開催いたしました。福島イノベーション・コースト構想や今後、様々な活用が期待されるドローンの操縦体験など、楽しみながら取り組む姿が見られました。将来は人が乗れる空飛ぶドローンの説明に目を輝かせていました。



子どもたちに伝えたい名言とことわざ⑩

子どもたちが考え、生活に生かす名言やことわざを紹介していきたいと思います。ご家庭でも話題にしていいただければと思います。

笑う門には福来たる

笑顔は人間関係の潤滑油になります。相手をホットさせたり、気持ちをリラックスさせたりします。また、笑いは心だけでなく、脳の活性化、免疫力の強化、運動能力の向上にも効果があると言われています。笑うことで自然に腹式呼吸が出来、酸素が脳に行き渡ります。笑いを意識的に生活に取り入れて、心身共に健康になりましょう。似た意味のことわざ「祝う門に福来たる」があります。



生徒が自分でつくる「お弁当の日」！

9月12日は生徒が自分で作るお弁当の日でした。食材や栄養、バランス、見栄えなど自分で考え、調理することを通して、毎日保護者に作っていただいている食事や弁当に感謝する心を感じ取ることが出来たことでしょうか。朝5時から作ってきたという生徒もいました。友達同士、見せ合い、試食し合い、楽しい弁当の時間が過ぎたようです。

最近の教育用語について⑦

近年、社会及び教育環境の変化に伴い、様々な新しい教育用語が出てきております。そこで、学校だよりの中で、出来るだけわかりやすく紹介させていただきます。

<子どもの権利条約>

子どもの権利条約（＝児童の権利に関する条約）は、戦争犠牲者や虐待被害者といった、大人から不利益な状況に置かれている子どもたちを守るために作られた、国際的な子どものための権利条約である。1959年の児童の権利宣言採択、1979年国際児童年の制定を受けて、1989年11月に国連総会で採択された。日本では1994年5月から発効されており、2003年現在、締約国は194か国に上っている。同条約では、子どもたちと向き合う時には「主」と「従」の関係でなく、人と人として対等な関係で接することを大きなテーマとしている。

ねがい⑩ 挑戦することを嫌がり、上手い出来ないとすぐにあきらめてしまう子どもたちの精神的な弱さが話題になります。同じ人間にあるのだから、限りなく強い人間も、果てしなく弱い人間もいないはず。要はその人の心構えの問題と言うことになるのかも知れません。

「たった一つだけ心構えの問題で言っておきたいことがある。それは“挫折”は何度でもやってくると言うことだ。社会と言うところは、人生に挫折を与えるように仕組まれている。この挫折の危機の皮を剥ぐ人間は大きくなる。一つ一つ自分の劣等感を克服するチャンスを与えられる。挫折は新しい出発だ」と話すのは作家の水上勉さんです。「社会と言うところは人間に挫折を与えるように出来ている」という言葉は重い。そして、その苦しみをはねのけていく精神力こそ、生きている証ということでしょうか。挫折をバネに出来る人間になりたいものです。



<お知らせ> 現在、擁壁（ブロック塀）改修工事が行われています。合わせて10月下旬より校庭に埋設されている除去土壌搬出作業も計画されています。この工事は来年2月末頃まで行われますが、後日工事計画が提示され次第お知らせします。ご理解とご協力のほどお願いします。

